



Vol. 33

アンテナショップまるごと高知&地産外商公社活動報告

まるごと高知レポート

2020.04-2021.03



感染防止徹底宣言



新型コロナウイルス
感染拡大防止中

まるごと高知（とさ市・とさ蔵・
TOSA DINING おきゃく）

東京都



2021(令和3年).6.18

高知県地産外商公社
高知県地産地消・外商課



目次

令和2年度 総括	1
新型コロナウイルスへの対応と1年の総括	1
1 県内事業者の営業活動支援	1
2 商品の磨き上げの支援	1
3 アンテナショップの運営	2
4 高知県情報の発信	3
外商活動に関する県内事業者へのアンケート結果の概要	4
展示商談会への参加事業者数の推移	5
SHOP DATA	6
経済波及効果と公社の活動の成果の推移	8
(部門別 活動の総括)	
県内事業者の営業活動の支援	10
アンテナショップの運営	11
プロモーション	13
令和3年度 of 取組	14



新型コロナウイルスへの対応と1年の総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応が必要となる中、感染対策を講じながら新たな取り組みへのチャレンジもしてきましたが、東京都では、1年の3分の1に当たる122日間、緊急事態宣言が発令されるなど活動が著しく制限され、大きな影響を受けました。

昨年度の公社の活動について、新型コロナウイルス感染拡大への対応なども交えて紹介します。

1 県内事業者の営業活動支援

① 個別企業への営業件数

2,379回(うち新規企業333社) (前年度 3,239回 うち新規企業465社)

オンラインでの営業活動にも取り組んだものの、企業訪問が制限されたことなどから、企業への営業件数は前年度比73.4%にとどまりました。

② 公社が主催又は出展する商談会への参加事業者数 延べ570社 (前年度 820社)

予定していた87回の商談会のうち48回が中止・延期になったものの、感染対策を講じて実施した商談会には商談機会の減った事業者の積極的な参加もあり、前年度比69.5%を確保しました。

実施した39回のうち26回はオンラインで実施し、そのほとんどは公社のネットワークを活用した個別商談会でした。また、緊急事態宣言中の2月に開催されたスーパーマーケット・トレードショーでは公社の職員が県内事業者の営業を代行するなど、新たな取り組みにもチャレンジしました。

③ 産地視察への招へい 77回 (前年度 129回)

④ 高知フェアの開催 164回 (前年度 187回)

実施回数は前年度を下回ったものの、コロナ禍で厳しい状況にある県内生産者の応援企画として、首都圏量販店の協力により会社の垣根を超えた高知フェアを初開催するなど、これまでに培ってきたネットワークを活かした取り組みを行いました。

- 結果**
- 成約件数 9,355件 (前年度 9,896件(前年度比5.5%減))
 - 成約金額 47.09億円 (前年度 46.38億円(前年度比1.5%増))
 - 取引先1社に対する平均成約金額 2,679千円 (前年度 2,302千円)
(延べ取引先 1,758社 (前年度 2,015社))

2 商品の磨き上げの支援

① テストマーケティング及び催事への参加

14社42商品(専門家によるオンライン相談(4社4商品)を含む) (前年度65社252商品)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い試食・試飲を伴うテストマーケティング等が実施できず、参加事業者、アイテム数とも前年度から大幅に減少しました。

② 「まるごと高知商談会・外商相談会」の開催(県内3カ所 延べ6回)

まるごと高知で新たに取り扱う商品の商談会及び県内事業者が県外に売り込みたい商品等についての相談会をコロナ禍でもwebを活用するなどして開催し、外商チャレンジ事業者や新商品の掘り起こしに努めました。

③ まるごと高知での売れ行きや来店客の声を商品づくりに反映

まるごと高知での売れ行きなどを見て、物販の店長が商品の磨き上げについて県内事業者にアドバイスを実施しました。

- (例) ・ 冷凍のカツオのたたきについて、消費者のニーズに合うサイズのブロックにすることを提案
・ 内容量に比べて容器が大きかったミョウガの加工品について、容器を小さくして消費者への訴求力を高めることを提案

3 アンテナショップの運営(収益部門)

令和2年8月で10周年をむかえた「まるごと高知」では、販売促進策や経費削減等に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度の経常利益はアンテナショップ開業以来初のマイナスとなりました。売上の大幅な落ち込みをカバーするために、国の持続化給付金や雇用調整助成金、都の感染拡大防止協力金等を最大限活用するとともに、県からの補助金による支援を受けました。

① 臨時休業・営業時間の短縮

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言などを受けて、臨時休業や時短営業を行いました。開店時間を前倒しすることにより営業時間数の確保に努めましたが、結果、年間で2割ほど減少しました。

<令和2年度 まるごと高知の営業時間の状況>

	物販	飲食	
		ランチ	ディナー
①通常営業	146日	40日	1日
②臨時休業	51日 (4/4~4/5、4/11~5/29)	51日 (4/4~4/5、4/11~5/29)	60日 (4/2~5/31)
③閉店時間の前倒し(時短営業) ※1	166日	85日	295日
④開店時間の前倒し ※2	—	271日	295日
内訳	通常の営業時間数を確保	—	85日
	通常の営業時間数より増	—	186日
	③の影響で、通常の営業時間数より減	—	—
			295日

※1 ラunchは30分、ディナーは30分~3時間の前倒し

※2 ラunch・ディナーとも30分の前倒し

※3 台風の影響による開店時刻の変更は含まない

② 来店・販売促進の取り組み

新型コロナウイルス感染症の拡大により落ち込んだ来店者数と売上の回復に向けてさまざまな施策を講じました。

【主な来店・販売促進策】

<物販>

- ・ スタッフ自らが県産品を紹介する動画を撮影し、SNSで配信
- ・ ECサイト(おうちでまるごと高知)の開設

<飲食>

- ・ 感染予防策を紹介する動画を作成し1Fピロティで放映
- ・ 新たな顧客の開拓に向け、女性向け予約サイト「オズモール」と連携した「女子会プラン」や、若者をターゲットに、スタッフによるSNSでの情報発信をスタート
- ・ 顧客ニーズ(少人数・家族利用や飲酒需要の減など)に対応したメニューの見直し(ディナー時の食事メニューの拡充など)
- ・ テイクアウトのスタート、大口注文先へのデリバリーも実施
- ・ ラunch回数券(令和3年3月まで)の導入



SNSでの動画配信



1Fピロティでの動画放映



「女子会プラン」の一例



③ 感染予防の取り組み

お客様と従業員の感染予防策を十分に講じ、安心してお買物やお食事を楽しんでいただけるよう努めました。

【主な感染予防策】

<物販>

- ・ 従業員の**検温、手指消毒**及び**マスク着用**の徹底
- ・ **試食・試飲の中止**
- ・ **使用済み買い物カゴの消毒**

<飲食>

- ・ 従業員の**検温、手指消毒**及び**マスク着用**の徹底
- ・ **席数減**による空間の確保
- ・ ランチ時のスタッフによる飲み物のサーブを**テーブルごとのポット設置**に変更
- ・ **飲食ごとのテーブル等の消毒**の徹底



店舗入口へのサーモグラフィカメラ、手指消毒液の設置



レジへの飛沫防止シートの設置



レジ待ち客向けの床案内サインの設置



お客様への検温、手指消毒のお願い



空気清浄機の導入、座席シートを抗菌素材へ入替



ロールカーテン、アクリルパーティションの設置

④ 売上

新型コロナウイルス感染症の拡大という初めての課題に対し、公社職員が一丸となって、試行錯誤しながらさまざまな取り組みにチャレンジしてきましたが、令和2年度の売上は、

物販 215,057千円、飲食 73,852千円 合計 288,909千円 (前年度比 39.4%減)
(前年度 物販313,271千円、飲食163,383千円 合計476,654千円)

と、物販、飲食とも通年営業となった平成23年度以来最低となりました。

⑤ 令和2年度の収支

令和2年度の経常利益は、アンテナショップ開業以来初のマイナスとなりました。

▲40,287千円 (前年度 7,606千円)

※ 県派遣職員の実績給を収益部門で負担後の数値。(実績給負担前の経常利益▲20,407千円)

売上の大幅な落ち込みをカバーするため、

国の持続化給付金や都の感染拡大防止協力金等を最大限活用するとともに、

(物販 2,864千円、飲食 7,557千円 合計 10,421千円)

県の補助金により支援していただきました。

(物販 3,567千円、飲食 26,299千円 合計 29,866千円)

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いていますが、引き続きさまざまな工夫を凝らして来店者数と売上の向上並びに経費の削減に努めてまいります。

4 高知県情報の発信

① 観光情報発信コーナーの運営

観光・移住・ふるさと情報コーナー 相談件数 719件 (前年度 1,210件)

② 「高知家」プロモーションをはじめ、県産品や観光、移住などの情報を積極的に発信 「高知家」ファミリー募金への賛同者にピンバッジを配布 開始から 累計403千個

結果 ● TV・新聞・雑誌等メディアへの露出
広告効果(TVのみ)は62.1億円 (前年度 83.3億円)

成約金額、店舗売上、観光客等の増による経済波及効果87.9億円 + 広告効果62.1億円

令和2年度 総括

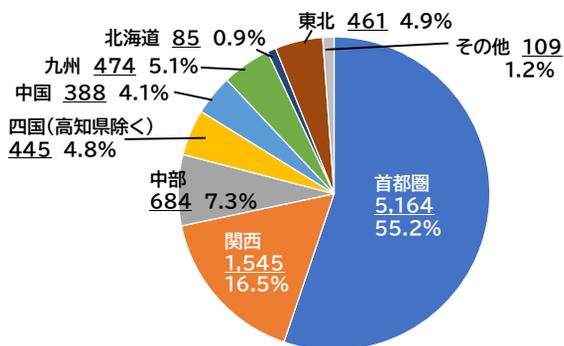
外商活動に関する県内事業者へのアンケート結果の概要

※令和2年度アンケート調査による 365社中307社回答（回答率84.1%）

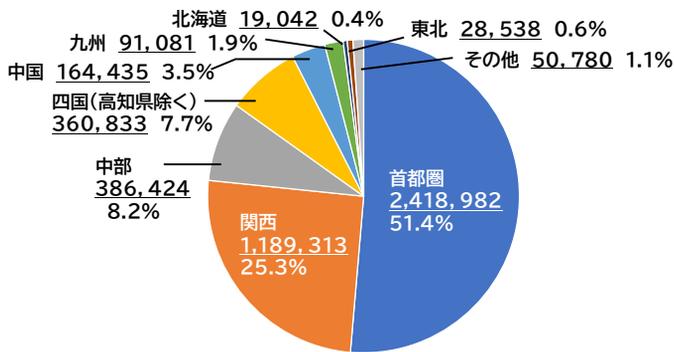
成約件数・金額等の状況

区分	成約数（件）	金額（千円）	事業者の実数	取引先の実数
合計	9,355	4,709,428	365	1,150

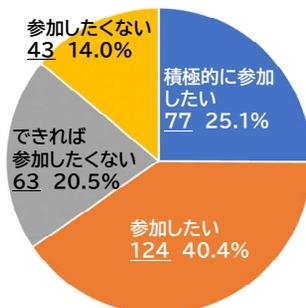
令和2年度 成約件数(件)



令和2年度 成約金額(千円)



オンライン商談会に対する意見



公社の外商活動について

① 外商機会の提供や販路、販売拡大について			② 今後の外商活動への期待について		
	事業者数	割合		事業者数	割合
大きく役立っている	116社	37.8%	大いに期待している	163社	53.1%
役立っている	101社	32.9%	期待している	141社	45.9%
つながる事例は少ない	76社	24.7%	あまり期待していない	3社	1.0%
つながる事例はない	14社	4.6%	期待していない	0社	0%
合計	307社	100.0%	合計	307社	100.0%



展示商談会への参加事業者数の推移

(単位:社)

区分	開催地	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
		(2010)	(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
まるごと高知 食の商談会	東京	-	-	39	66	71	51	67	71	-	51	-
土佐の宴	大阪	大阪事務所主催で開催(~H26)					53	70	70	66	-	中止
	愛知	-	-	-	-	-	-	-	36	39	中止	
高知県産品商談会 (産地視察型商談会(~H28))	高知	-	-	-	-	-	93	136	105	84 113	124 122	66 100
JFフードサービスバイヤーズ	東京	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
ファバックス(東京)	東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	中止
ファバックス(関西)	大阪	大阪事務所主催で開催(H25、H26)					8	10	10	-	-	16
名古屋フードビジネスショー	愛知	-	-	-	-	-	9	15	21	15	18	中止
FOODトレードアシストパッケージ	東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
フードストアソリューションズフェア	大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	18	16	17
スーパーマーケット・トレードショー	東京	34	36	47	58	50	58	55	59	46	55	43
FOODEX JAPAN	東京	-	-	20	24	33	32	18	22	20	-	-
居酒屋産業展(東京)	東京	-	-	-	8	10	16	14	14	15	-	-
居酒屋産業展(関西)	大阪	-	-	-	-	-	-	-	9	9	9	-
フードスタイル in Fukuoka	福岡	-	-	-	-	-	-	8	8	14	18	18
インバウンドマーケットEXPO	東京	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
輸出EXPO	東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
会社のパイプを活かした個別商談会		-	-	-	-	-	133	72	119	116	147	265
大手卸との関係構築による展示商談会		-	-	-	38	118	193	211	180	185	208	20
延べ参加事業者数		34	36	106	194	286	646	676	692	737	820	570
実参加事業者数		34	36	81	102	139	192	193	189	190	194	164
H22以降初めて参加した事業者数		-	13	47	38	51	56	45	26	35	35	24

高知県産品商談会 … H30から春(上段)、秋(下段)の2回(R2は10月と11月)開催

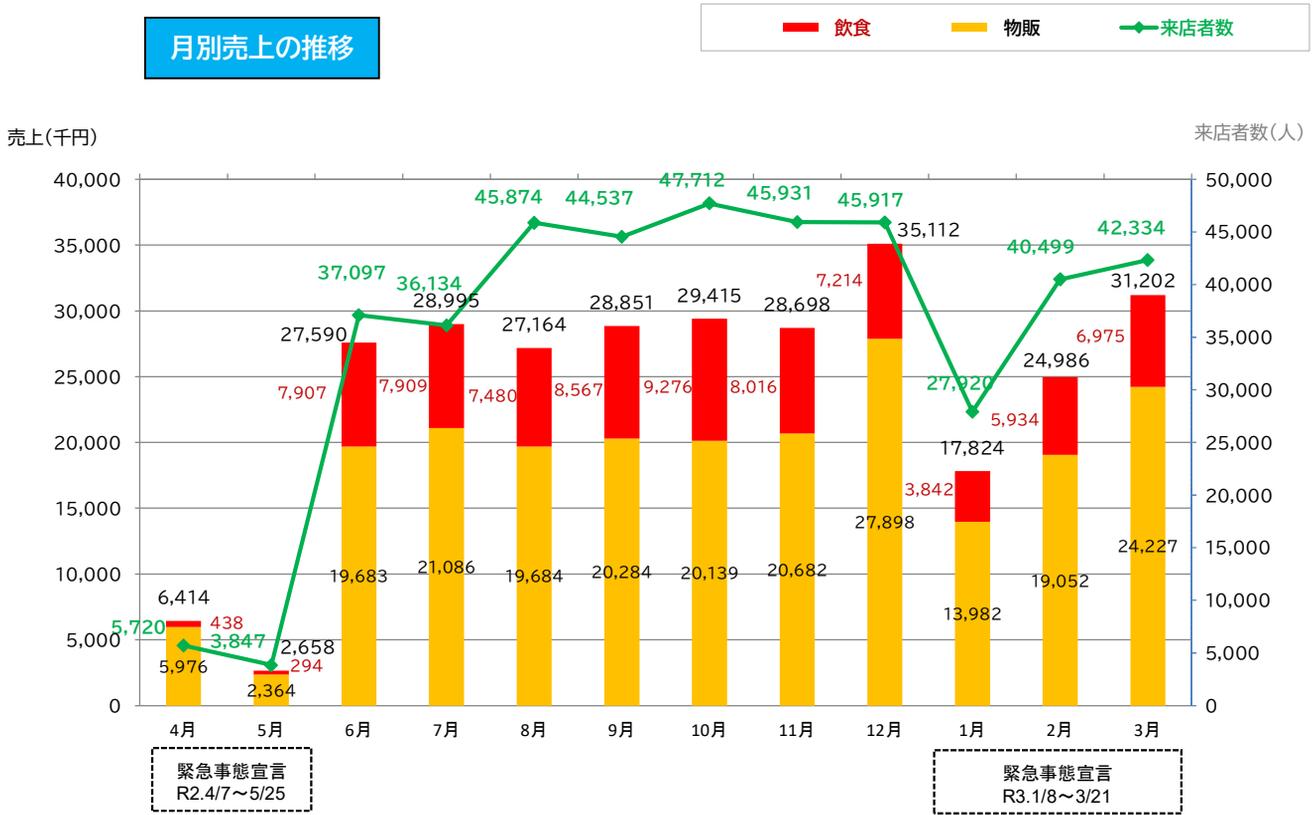
スーパーマーケット・トレードショー、FOODEX JAPAN … 「高知県ブース」への参加事業者数

会社のパイプを活かした個別商談会 … R2はオンラインが中心

SHOP DATA 1

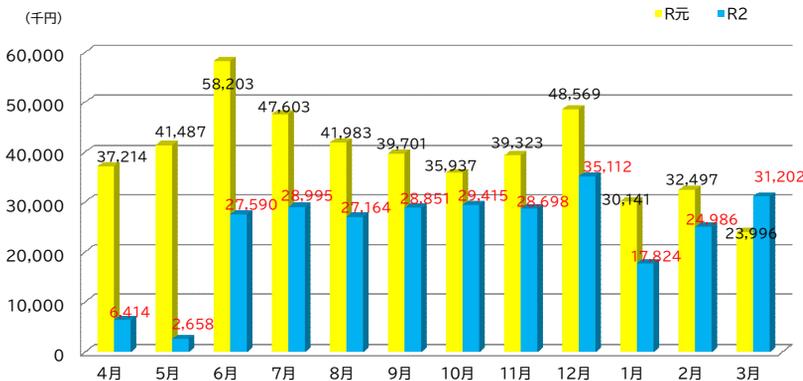
売上 288,909千円（物販 215,057千円、飲食 73,852千円）、来店者数 423,522人

月別売上の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
物販													
営業日数(日)	8	2	30	31	31	30	31	30	31	29	28	31	312
来店者数(人)	5,415	3,676	33,765	32,851	42,344	40,890	43,728	42,543	42,691	25,937	37,374	38,865	390,079
レジ通過者(人)	2,000	1,165	11,997	11,318	13,636	13,531	14,193	14,070	15,758	8,884	12,350	12,844	131,746
レジ通過率	36.9%	31.7%	35.5%	34.5%	32.2%	33.1%	32.5%	33.1%	36.9%	34.3%	33.0%	33.0%	33.8%
客単価(円)	2,035	1,533	1,591	1,771	1,422	1,484	1,404	1,453	1,746	1,555	1,520	1,825	1,583
飲食													
営業日数(日)	8	2	30	31	31	30	31	30	30	29	28	31	311
来店者数(人)	305	171	3,332	3,283	3,530	3,647	3,984	3,388	3,226	1,983	3,125	3,469	33,443
客単価(円)	1,431	1,721	2,371	2,399	2,119	2,294	2,328	2,366	2,236	1,921	1,899	1,989	2,198

売上金額の前年度比較

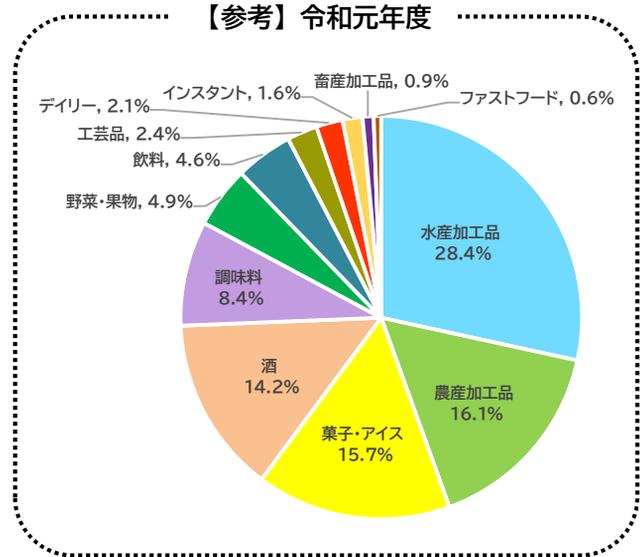
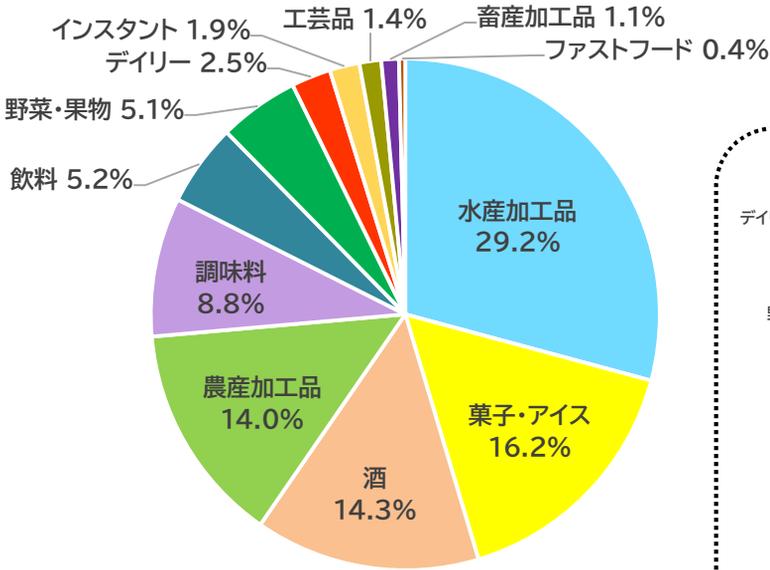


区分	年間平均客単価
物販 (1階)	1,467円 (1,323円)
物販 (地下)	2,614円 (2,164円)
飲食 (ランチ)	1,586円 (1,624円)
飲食 (ディナー)	4,949円 (5,729円)

※店舗売上+EC売上等、()は昨年度



令和2年度 物販売上構成比



令和2年度 売上点数上位20

物販部門

順位	商品名	点数
1	四国健商 万能おかず生姜130g	27,759
2	はちきんの店 安部さんの囲生姜	10,130
3	青柳 栗のマドレーヌ バラ	7,329
4	馬路村農協 ごっくんアルミ缶	6,725
5	澁谷食品 塩けんぴ 高知家	6,508
6	明神水産 薫焼き戻り鰹たたき ブロック	6,250
7	ハマヤ 龍馬タタキ	6,087
8	加用物産 青さのりす〜び7.5g	5,381
9	澁谷食品 塩けんぴ	4,441
10	明神水産 薫焼き戻り鰹たたき 1節	4,093
11	ヤマテパン ぼうしパン	3,857
12	澁谷食品 よさこい芋けんぴ	3,717
13	馬路村農協 ごっくん馬路村180ml	3,226
14	野村煎豆 ミレービスケット30g×6袋	3,205
15	スイーツ 田野屋塩二郎シューラスカップ	3,199
16	ハマヤ 薫焼き龍馬たたき 小2節	2,953
17	澁谷食品 よさこい胡麻けんぴ	2,948
18	ひまわり乳業 リーブル200ml	2,915
19	馬路村農協 ゆずの村ゆずドリンク280ml	2,857
20	野村煎豆 ミレービスケットコーヒー4連	2,766

飲食部門

順位	商品名	点数
1	薫焼きカツオのたたき御膳(ランチ)	7,525
2	まるごとおきゃく御膳(ランチ)	4,027
3	高知鮮魚の刺身御膳(ランチ)	3,629
4	四万十ポーク米豚の生姜焼き御膳(ランチ)	1,694
5	日替わり御膳(ランチ)	1,624
6	どろめとちりめんの二色丼と茄子タタキ御膳(ランチ)	1,159
7	薫焼きカツオの塩たたき	952
8	鍋焼きらーめん(ランチ)	932
9	高知鮮魚の握り寿司と田舎寿司御膳(ランチ)	927
10	土佐の豪快天ぷら御膳(ランチ)	561
11	薫焼きカツオのたたき柚子ポン酢	514
12	季節のきき酒セット	400
13	文旦サワー	388
14	四万十鶏と高知野菜のゆずカレー(ランチ)	379
15	四万十青さのりのかき揚げ	360
16	いたどり	353
17	ディナーコース(3000円)	346
18	土佐ジロー卵	345
19	安芸名物 茄子のたたき	323
19	どろめ	323

経済波及効果(R2年度)【上段】と

INPUT (補助金等投入額)	OUTPUT (活動の結果)
① 県補助金 3.03億円(決算見込み額) ② 人件費負担(県直接支給分) 0.38億円(決算見込み額) ③ 建物の家賃負担 1.11億円(決算見込み額) ①～③合計 4.52億円	① フェア・商談会等の開催 ●営業訪問(面談) 2,379件 ●展示商談会 39回・570社(うちオンライン 26回・265社) ●産地招へい 77回 ●高知フェアの開催 164回 ② 県内 365社 の外商活動を支援(R元年度:392社) ③ テストマーケティングや催事への参加商品数 42商品 ④ 首都圏メディアへの精力的なプロモーション活動 ●TV番組の べ75番組 で県産品、観光等を情報発信 ⑤ 観光・移住・ふるさと情報コーナーへの相談件数 719件

		H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	
外商	外商の成約件数	178件	444件	1,327件	2,603件	3,333件	4,393件	6,555件	
	外商の成約金額			3.41億円	7.68億円	12.35億円	16.06億円	20.79億円	
	展示商談会		1回	1回	3回	7回	16回	39回	
	延べ参加事業者数 (うち実参加事業者数)		34社 (34社)	36社 (36社)	106社 (81社)	194社 (102社)	286社 (139社)	646社 (192社)	
	営業訪問(面談)		269件	339件	541件	761件	816件	1,388件	
	産地招へい						32回	99回	
	高知フェア	29回	43回	46回	50回	63回	101回	145回	
磨き上げ	テストマーケティング		38商品	52商品	催事と合わせ 201商品	催事と合わせ 179商品	催事と合わせ 241商品	催事と合わせ 198商品	
情報発信	広告換算		17億円	23.3億円	22.2億円	68.1億円	52.4億円	60.6億円	
	観光・移住・ふるさと情報 コーナー相談件数		1,200件	1,317件	1,350件	1,217件	884件	1,128件	
収益部門	来店者数		443,708人	722,077人	756,056人	695,042人	647,261人	673,034人	
	売上	合計		2.48億円	3.90億円	3.86億円	4.23億円	4.41億円	4.71億円
		物販		1.49億円	2.27億円	2.23億円	2.44億円	2.59億円	2.97億円
		飲食		0.98億円	1.63億円	1.63億円	1.79億円	1.82億円	1.74億円

トピックス	地産外商公社 設立(8/3)	まるごと高知 オープン (8/21)		外商課を2課体 制とし、商品開 発課を高知事 務所に	プロモーション 戦略局、外商事 務所設置 高知家プロモ ーションスタート		外商を部体制 とし、大阪グ ループを設置し て活動範囲を 拡大
-------	-------------------	--------------------------	--	-------------------------------------	--	--	---



公社の活動の成果の推移【下段】

OUTCOME(活動の成果)

- ① 成約金額 **47.09億円** (R元年度:46.38億円)
成約件数 9,355件 (R元年度:9,896件)
- ② 店舗での売上原価 **1.8億円** (店舗売上2.9億円)
- ③ 観光客等の増加効果(推計) **3.2億円**
- ④ **①~③経済波及効果計 ※87.9億円**
(※①~③に生産誘発倍率(1.42~1.71)を乗じた数値)
- ⑤ 広告効果(広告費換算) **62.1億円**

④+⑤総計 **150.0億円**

H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)				R3目標 (2021)
				目標	実績	対前年比	対目標比	
8,112件	9,127件	9,620件	9,896件	10,000件	9,355件	94.5%	93.6%	10,000件
28.48億円	35.41億円	42.38億円	46.38億円	50.00億円	47.09億円	101.5%	94.2%	53.50億円
44回	48回	55回	56回		39回 うちオンライン 26回	69.6%		
676社 (193社)	692社 (189社)	737社 (190社)	820社 (194社)		570社 (164社) うちオンライン 265社 (107社)	69.5% (84.5%)		
1,984件	2,187件	3,218件	3,239件	3,500件	2,379件	73.4%	68.0%	3,500件
135回	112回	152回	129回		77回	59.7%		
178回	176回	173回	187回	200回	164回	87.7%	82.0%	200回
催事と合わせ 200商品	催事と合わせ 199商品	催事と合わせ 205商品	催事と合わせ 252商品	催事と合わせ 200商品	催事と合わせ 42商品	16.7%	21.0%	催事と合わせ 200商品
61.2億円	63.1億円	64.5億円	83.3億円	60.0億円	62.1億円	74.5%	103.5%	60億円
1,203件	1,247件	1,236件	1,210件	1,200件	719件	59.4%	59.9%	1,200件
763,073人	696,896人	686,369人	698,264人	700,000人	423,522人	60.7%	60.5%	58.0万人
4.66億円	4.44億円	4.57億円	4.77億円	4.73億円	2.89億円	60.6%	61.1%	3.78億円
3.05億円	2.69億円	2.76億円	3.13億円	2.93億円	2.15億円	68.7%	73.4%	2.57億円
1.61億円	1.75億円	1.81億円	1.64億円	1.80億円	0.74億円	45.1%	41.1%	1.21億円

		外商を局体制とし、名古屋駐在を設置			新型コロナウイルス感染症拡大			大阪グループの体制を強化
--	--	-------------------	--	--	----------------	--	--	--------------

県内事業者の営業活動の支援

蓄積してきたノウハウを活かした営業活動の実施

① 外商先とのネットワークの活用

これまでに公社が培ってきた大手卸やボランタリーチェーンなどとのネットワークや信頼関係を最大限に活用し、オンライン個別商談会を開催するなど、新たな販路の開拓や販売の拡大に取り組んできました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で厳しい状況にある県内生産者の応援企画として、これまでにネットワークを構築してきた首都圏量販店の協力により、会社の垣根を超えた高知フェアを6社11店舗で開催することができました。【再掲】



首都圏小売店等
オンライン商談会

② 全国規模の商談会への出展

- ・ スーパーマーケット・トレードショー 43社出展
(公社職員による営業代行を実施)
- ・ ファベックス関西 16社出展
- ・ フードスタイル in Fukuoka 18社出展
- ・ フードストアソリューションズフェア 17社出展
- ・ FOODトレードアシストパッケージ 20社出展



スーパーマーケット・
トレードショー



生産者応援企画
首都圏スーパーの高知フェア

③ 公社・県が主催する商談会の開催

大阪と名古屋で3月に開催予定だった「土佐の宴」は緊急事態宣言発令に伴い中止しましたが、高知県産品商談会は、開催時期を見極めながら、感染予防策に万全を期して2回開催しました。

- ・ 高知県産品商談会(高知)
出展事業者:166社 (10月:66社、11月:100社)
バイヤー等:106社 (10月:18社、11月:88社)

④ 産地視察招へい等による販売拡大

新型コロナウイルス感染症拡大の状況などを見極めながら飲食店のシェフ等を産地に招へいし、生産現場の視察や商談を通じて食材や県内事業者への関心を高めていただき、取引の拡大につなげました。

- ・ 産地招へい 77回 (前年度 129回)



産地視察

⑤ 新商品の発掘や外商にチャレンジする事業者の支援

県内3地域で延べ6回の相談会を開催し、新商品の発掘や外商にチャレンジする事業者の掘り起こしに努めました。

また、地域商品流通の専門家とのオンライン相談会を開催(4社4商品参加)してアドバイスをいただき、商品の磨き上げにつなげました。【再掲】

⑥ 県産品データベースなどの商品情報ツールの活用

県産品データベースに県内事業者の企業・商品情報や産地等のPR動画の配信機能を新設するなど機能を強化し、外商先にきめ細かな商品情報を提供することで、取引拡大につなげました。

- ・ データベース登録商品数 2,832商品 (前年度 2,575商品)

県内事業者を応援する企画の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた県内事業者を応援する企画を実施しました。

- ・ 須崎カンパチ応援御膳(レストラン特別メニュー)
- ・ SNSを活用した県産品を食べて応援キャンペーン
- ・ オンラインによる「大川村謝肉祭応援企画」





アンテナショップの運営

部門同士が緊密に連携した店舗プロモーションの実施

オンラインを活用した新たな施策を実施するなど、県産品の認知促進・販売促進を図りました。

① ECサイト「おうちでまるごと高知」の開設

4月の緊急事態宣言を受け、5月14日から、オンラインで商品を購入できるページを作成し、県産品の販売を始めました。

商品単品で販売するのではなく、アンテナショップならではの知見を活かした加工品のセレクトセット、公社が持つネットワークを活かして番組や雑誌とコラボレーションした商品、発信力のある著名人と開発したオリジナル商品などを販売しました。

<主な商品>

- ・ <「TOSA DINING おきゃく」の味をご自宅で>と題した、自宅で楽しめる窪川ポークの生姜焼きセット
- ・ 雑誌「dancyu」の掲載に合わせた「土佐あかうしステーキセット」
- ・ 「メレンゲの気持ち」(日テレ)での紹介に合わせた「カツオのたたきセット」
- ・ アイドルグループ「アンジュルム」の川村文乃さんを起用し、ゆずジェラート・シャーベットの開発と販売
- ・ 「まるごと高知」の女性スタッフが選んだ「コロナ対策セット」
- ・ 「まるごと高知」2021年新春福袋 など

② 土佐酒のオンライン販売強化

売上が激減し、苦境に立つ酒蔵を応援する企画を実施しました。

- ・ 5月14日 吉田類さんの応援色紙付の土佐酒3本セットを販売
- ・ 6月21日 雑誌「dancyu」との共催で<オンラインで乾杯！「高知のおきゃく」>を開催 参加者約200名が事前に土佐酒セットを購入
- ・ 8月21日 10周年記念、10万円セットの販売(限定10セット)
- ・ 2月6日 吉田類さんとオンライン飲み会(約70名が参加。参加者は事前に土佐酒セットを購入)
- ・ 3月6日 高知市で開かれる「土佐の大おきゃく」の日に合わせ「オンライン大おきゃく」を開催

③ 「10周年記念YouTube 生配信」

店頭と高知を繋ぐ生配信を実施(8月22日)。中土佐町の川島昭代司さんや安田町の豆電球さんと繋ぎ、歌を披露していただきました。また、ゲストに俳優の和田正人さんをお招きし、高知への思いを語っていただきました。

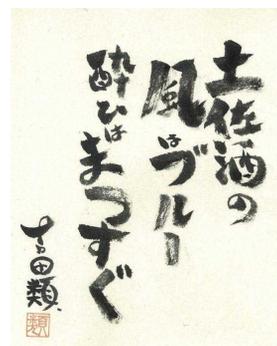
また、10周年の人気ランキングを紹介する動画を作成。MCを小野大輔さんに担当していただき販売促進につなげました。

④ よさこい祭りを活用したまるごと高知のPR

ドリームよさこい(11月)に、まるごと高知オフィシャルチームとして参加し、正調よさこい踊りを披露するとともに、まるごと高知をPRしました。



キャラクターデザインを担当



アンテナショップの運営

物販・飲食共通

- ① ポイントカードをリニューアル
昨年6月23日に紙のスタンプカードから磁気のポイントカードへとリニューアルしました。



新ポイントカード

物販部門

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、試食・試飲やイベントが実施できなくなる中、さまざまな工夫により店内のにぎわい創出と来客促進に努め、首都圏に県産品情報を発信しました。

- ① 店頭催事の実施
試飲・試食や県内事業者等の上京が制限され、テストマーケティングを含む催事の実施は14社42商品にとどまりました。【再掲】
- ② 新商品等の採用
高知事務所と連携した県内事業者等への訪問や、まるごと高知商談会等で発掘した新商品328アイテムを含む1,946アイテムを首都圏の消費者に紹介しました。
- ③ SNSを活用した情報発信
試飲・試食が制限される中、コツが必要な文旦の皮の剥き方をスタッフがレクチャーする動画を作成しSNSで発信するなど、県産品の情報発信に努めました。【再掲】
- ④ 地元ジーンズメーカーとのコラボ
地元ジーンズメーカーとコラボレーションし、スタッフ用のエプロンや陳列台用の台幕を新調して明るくにぎやかな店づくりを図りました。



飲食部門

- ① テイクアウトを開始
外食を控える動きが加速する中、自宅や職場でも「おきやく」の味を楽しんでいただけるよう、本年1月18日からテイクアウトをスタートしました。【再掲】
スタートに際しては、1階物販フロアでも店内にチラシを貼ってお知らせするなど、まるごと高知が一体となってPRに努めました。
- ② 食事メニューの充実
ディナーメニューについて、従来の多人数での宴会などを想定したものから、お好みの前菜や主菜などをメニューからセレクトできる「セレクト御膳」など、少人数やお一人様でも楽しめる食事メニューへと顧客ニーズに合わせた見直し・充実を図りました。

当ビル2階「TOSA DININGおきやく」の
「おきやく」セレクト御膳

お一人様でもお気軽にご来店ください。

1人前セット3,000円(税込)

高知の食料は「おきやく」の魂

下段①～④からそれぞれお選びいただけます。

① 前菜から選ぶ 2種の前菜	+	② 中食のこだわり 高知産品の主菜	+	③ 高知産品の副菜	+	④ デザート・ドリンク おきやくの 1ドリンク
-------------------	---	----------------------	---	-----------	---	-------------------------------

料理の組み合わせは560通り、お好みで豪華な組み合わせもどうぞ！

感謝状を添えてお持ちしています。

乳酸菌たっぷり発酵茶「暮石茶」プレゼント

営業時間17時～19時ラストオーダー(20時閉店)



プロモーション

オウンドメディアである高知のあれこれ記事まとめサイト「高知家の〇〇」を軸に、店頭連携施策・web広告・マスメディアと連携した情報発信を展開

① 高知家プロモーション

<8年目の高知家プロモーションの企画立案・制作・実施>

コンセプト:「高知県は、ひとつの大家族やき。」

令和2年度は、高知県南国市出身の紅白演歌歌手の三山ひろしさんをキャスティングしてプロモーションを展開。高知家のオウンドメディアである、高知のあれこれ記事まとめサイト「高知家の〇〇」を情報発信のプラットフォームとして、高知に関わるヒト・モノ・情報のオリジナル記事を毎日発信し、年間のPV(ページビュー)数が280万PVに達しました。

また、「高知家の〇〇」の企画として、高知大学土佐FBCと連携したオリジナルのお取り寄せ商品開発・販売や、民間企業との連携企画等で、新たな高知家ファン層の取り込みを図りました。



高知家プロモーション記者発表



お取り寄せ企画



民間企業連携企画



② メディア露出(広告費換算:62.1億円)

<テレビを中心としたマスメディアやSNS等のwebを活用した情報発信>

コロナ禍での取り組みを定期的にリリースすることで注目してもらい、「news every.」(日本テレビ)でレストランの「テイクアウト」をご紹介いただいたり、「なないろ日和」(テレビ東京)で「おうちでまると高知」をご紹介いただいたりしました。

また、「あさいち」(NHK)では、高知を代表するレストランとして、山下裕司料理長が考案した鰹節レシピを紹介してもらいました。

090



③ カツオ人間による情報発信

高知のキャラクター・カツオ人間のSNSで、県内の観光情報や大阪、福岡といった西日本都市圏でのメディアキャラバンによる高知県情報発信を実施しました。また、高知家プロモーションのキャラクター・三山ひろしさんとの連携を行い、両者のファン層に高知県情報を発信しました。

④ 関東海援隊の活動

「東京で高知を応援する」をコンセプトに集まる「関東海援隊」には、これまで活動の中心だった店頭のお手伝いが実施できないことから、高知県産品を買って応援していただくため、会員限定セットの販売を強化しました。



カツオ人間&三山ひろしさん

⑤ 移住相談窓口、観光・移住・ふるさと情報コーナーの運営

相談件数 719件

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の収束への動きなども見据えつつ、デジタル化の推進や、万博などに向けて活力のある関西圏との連携といった県の重点施策を意識しながら、次の3つの基本方針に沿って活動を展開しています。

基本方針

<県内事業者の営業活動の支援>

■ これまで培ってきた外商先との信頼関係やネットワークを最大限に活用し、拡大してきた外商エリアでの活動の深化を図り、県内事業者・生産者の新たな販路の開拓や販売拡大に努める

<アンテナショップの運営>

■ 感染対策をしっかりと行いながら、公社一丸となって物販・飲食部門への集客を行う

<高知県情報の発信>

■ 公社が築き上げてきたメディアとのネットワークを最大限に活用し、様々なメディアでの高知県情報の露出機会を確保する

県内事業者の営業活動支援

ファベックス2021へ出展！

4/21～23の3日間、東京ビッグサイトで開催されたファベックス2021に高知県ブースを出展しました。

東京都にまん延防止等重点措置が適用されている中でしたが、事業者の上京を最低限に制限するなど感染予防策を十分に講じ、県内事業者20社(うち3社は公社が営業代行)が熱心に商品売り込みました。

今後も新型コロナウイルス感染症の拡大状況などを勘案しながら効果的な外商機会の確保に努めてまいります。



アンテナショップの運営

スイーツ&カレーフェアを開催！

GW中の4/29から高知の有名なスイーツとレトルトカレーを集めたスイーツ&カレーフェアを店舗入り口で展開し、緊急事態宣言中で家で過ごすことが多くなる消費者のニーズに応えつつ、本県産品をPRしました。

新たな「皿鉢スタイル」を提案！

レストラン「おきやく」では、4/6からディナーメニューをリニューアルし、高知の「皿鉢料理」の文化の継承と、少人数での食事という顧客ニーズの双方に応える「皿鉢スタイル」メニューを追加しました。



2階 レストラン
感染対策を徹底しています。
安心してご利用ください。

おきやく
TOSYA DINING

**お酒の提供は
休止しています**

**夜のメニュー
リニューアル**

**さわち
皿鉢スタイル**

土佐の宴会「おきやく」の真ん中には、いつも「皿鉢料理」がありました。いろいろな料理を盛り付けた大皿を囲んで酒を酌み交わす、土佐のおもてなしの形。そんな「おきやく」の精神を継ぎさぬように、お一人でも「皿鉢」の雰囲気を楽しめるお料理をご用意しました。

カツネ

◎ 炭焼きカツネのたき皿鉢 2,500円

鮮魚

◎ お造り盛り合わせ皿鉢 2,500円

四万十

◎ 四万十郷の生炭焼皿鉢 1,800円

四万十

◎ 四万十郷の出揚げ皿鉢 1,500円

あかうし

◎ あかうしのステーキ皿鉢 4,000円

他にも多数のメニューをご用意しております

5月までのトピックス